

4:1 【主】はモーセとアロンに告げられた。
 4:2 「レビ人のうち、ケハテ族の頭数を、その氏族ごと、一族ごとに調べよ。
 4:3 それは会見の天幕で任務に当たり、仕事をするのでできる三十歳以上五十歳までのすべての者である。
 4:4 ケハテ族の会見の天幕での奉仕は、最も聖なるものに関わることで、次のとおりである。
 4:5 宿営が出発するときは、アロンとその子らが入って行って、仕切りの垂れ幕を取り降ろし、あかしの箱をそれでおおい、
 4:6 その上にじゅごんの皮の覆いを掛け、またその上に真っ青の布を広げ、担ぎ棒を通す。
 4:7 また、臨在の机の上に青色の布を広げ、その上に皿、ひしゃく、水差し、注ぎのささげ物のための瓶を載せ、またその上に常供のパンを置く。
 4:8 これらのものの上に緋色の撚り糸の布を広げ、じゅごんの皮の覆いでこれをおおい、担ぎ棒を通す。
 4:9 青色の布を取って、燭台とともしび皿、芯切りばさみ、芯取り皿、また、燭台のために用いる、油のためのすべての器具をおおい、
 4:10 この燭台とそのすべての器具をじゅごんの皮の覆いの中に入れ、これを担ぎ台に載せる。
 4:11 また金の祭壇の上に青色の布を広げ、それをじゅごんの皮の覆いでおおい、担ぎ棒を通す。
 4:12 聖所で務めに用いる用具をみな取り、青色の布の中に入れ、じゅごんの皮の覆いでそれをおおい、これを担ぎ台に載せ、

4:13 祭壇から灰を除き、紫色の布をその上に広げる。
 4:14 その上に、祭壇で用いるすべての用具、すなわち火皿、肉刺し、十能、鉢、これら祭壇のすべての用具を載せ、じゅごんの皮の覆いをその上に広げ、担ぎ棒を通す。
 4:15 宿営が移動する際には、アロンとその子らが聖所と聖所のすべての用具をおおい終わってから、その後でケハテ族が入って行って、これらを運ばなければならない。彼らが聖なるものに触れて死ぬことのないようにするためである。これらは、会見の天幕でケハテ族が運ぶ物である。
 4:16 祭司アロンの子エルアザルの責任は、ともしび用の油、香りの高い香、常供の穀物のささげ物、注ぎの油についてであり、幕屋全体とその中にあるすべての物、聖所とその用具についての責任である。」
 4:17 【主】はモーセとアロンにこう告げられた。
 4:18 「あなたがたは、ケハテ人諸氏族の部族をレビ人のうちから絶えさせてはならない。
 4:19 あなたがたは彼らに次のようにして、彼らが最も聖なるものに近づくときに、死なずに生きているようにせよ。アロンとその子らが入って行き、彼らにそれぞれの奉仕と、運ぶ物を指定しなければならない。
 4:20 彼らが入って行って、一目でも聖なるものを見て死ぬことのないようにするためである。」

戦力を数えたのが民数記ではありますが、神への奉仕・礼拝をおろそかにしては勝利はありません。この箇所の規定は、目に見える戦果を求めて

のものではないので、守るには霊的理解力と従順が必要でした。それで30歳以上の成熟が必要だったのです。

ケハテ族が携わったものは全て神様の御性質と救いを表わすものですから、それらを扱う奉仕は重要で、まさに献身と従順が必要でした。また高度な役割分担と、自分の役割への分担が必要であり、「死なないため」と言われているように、自らの分を超えない謙遜さが必要でした。教会や実生活でこれらの資質を身に着けますよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

